資料１

「ｖｓ東京『とくしま回帰』総合戦略」の評価方法

１　基本的な考え方

・ 戦略会議委員からの提言に重きを置いた「未来志向型の政策評価」とする。

・ 施策（事業）の改善につながる，より「効果的」で「効率的」な評価とする。

２　評価方法について

（１）評価の対象

主要事業（１１２事業）を評価単位とし，評価を行う。

基本目標（１～４）

■　重要業績評価指標（ＫＰＩ）

●　主要事業

○　数値目標

評価単位

（２）評価項目は，次の２点とする。

ア．平成２７年度の取組及び進捗状況

イ．今後の取組方針

（３）評価基準

評価については，次の基準に従い，Ａ，Ｂ，Ｃの３段階で評価する。

Ａ：順調，Ｂ：概ね順調，Ｃ：要見直し

		平成27年度の取組及び進捗状況		
		良好	概ね良好	不十分
今後の取組方針	妥　当	A	A	B
	概ね妥当	A	B	C
	不十分	B	C	C

【参考】総合戦略の評価区分

評　価　項　目	評価区分	評価する際の基本的な考え方
○ 平成２７年度の取組及び進捗状況	良　　好	取組内容が妥当であるとともに，**数値目標が達成され**，これまでの取組みにより具体的な成果が十分に上がっているもの
	概ね良好	取組内容が妥当であるとともに，**数値目標がほぼ達成され**ている等，一定の成果が上がっているもの
	不 十 分	取組内容や成果が不十分であるもの (例) ・ **数値目標が未達成であるもの** ・ 取組みが慣例的（又は後退傾向）であるもの ・ 数値目標が設定されていない場合で，目標や進捗状況が不明確なもの
○ 今後の取組方針	妥　　当	進捗状況を踏まえた課題把握及び**今後の取組方針が妥当**であり，目標が順調に達成できると見込まれるもの
	概ね妥当	進捗状況を踏まえた課題把握及び**今後の取組方針が概ね妥当**であり，目標の達成が可能であるもの
	不 十 分	課題把握や**今後の取組方針が不十分**であり，目標の達成に更なる努力を要するもの

（４）総合戦略への意見・提言

「主要事業」ごとの評価に加え、総合戦略について、「総合的な観点」から意見・提言をいただくこととする。